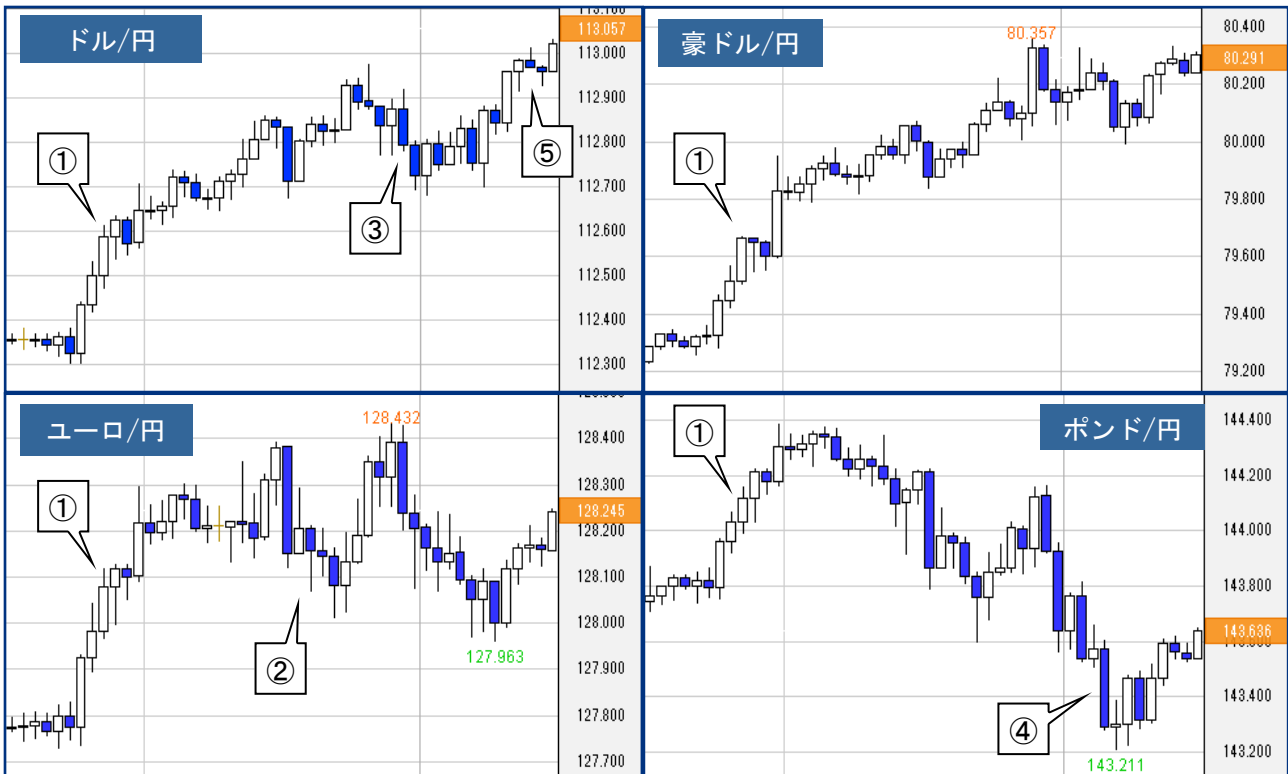


10月31日(水曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## ドル/円、月足陽転のハードルは高い

### 30日(火)の為替相場



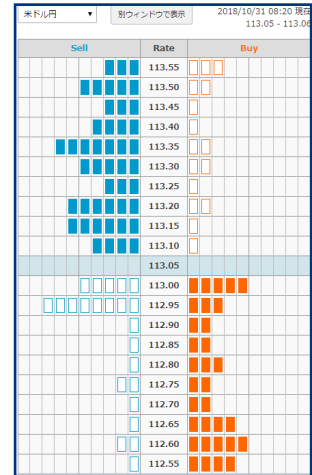
期間: 30日(火)午前6時10分~31日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所: 外為どっとコム

- ① 前日の米国株安の流れを継いで小安く始まった日経平均株価がプラス圏に浮上し、さらに上げ幅を拡大。リスク回避ムードが後退する中で円売りが活発化した。なお、前日に大きく下落していた上海総合指数も堅調に推移し、後場に入ると上げ幅を前日比1%超に拡大した。
- ② ユーロ圏7-9月期域内総生産(GDP)・速報値は前年比+1.7%と、市場予想(+1.8%)に届かず前回(+2.2%)から減速した。なお、その後に発表された独10月消費者物価指数・速報値は前年比+2.5%と、予想(+2.4%)を上回った。ユーロ圏の景気が減速気味にもかかわらず、ドイツのインフレが上昇傾向を示す格好となった。
- ③ 米10月消費者信頼感指数は137.9と市場予想(135.9)を上回った。前回値が下方修正(138.4から135.3へ)されたため、改めて10月消費者信頼感指数が約18年ぶりの高水準となった。
- ④ 英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitに先行き不透明感が強まる中、ポンド安が進行。なお、格付け会社S&Pは「英国の合意なきBrexitの可能性は、同国の信用格付けに影響するほど十分に高まった」と指摘した。米長期金利の上昇を受けてドル高(ポンド安)が進行した事も相まってポンド/円は143.20円台まで下値を拡大した。
- ⑤ NYダウ平均が引けにかけて上げ幅を400ドル超に拡大。株高を受けて米10年債利回りも3.12%台へ上昇した。これを受けてドル/円は10日以来ほぼ3週間ぶりに113円台を回復した。

30日(火)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21457.29 △307.49	5805.102 △76.947	2568.048 △25.945	7035.85 △9.53	11287.39 ▼48.09
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24874.64 △431.72	0.1220% △0.0120	2.582% △0.014	1.399% ±0.000	0.369% ▼0.008
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.8507% △0.0344	3.1227% △0.0377	66.18 ▼0.86	1225.30 ▼2.30	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.700-113.600	127.700-128.900	79.800-80.800	143.000-144.400

【ドル/円】

昨日のドル/円は、ほぼ3週間ぶりに113円台を回復した。アジア株高を背景に112円台後半へと上昇。節目の113.00円の手前では戻り売りの動きも見られたが、NY市場終盤に米国株が上げ幅を拡大すると節目を突破して上伸した。

上値抵抗と見られていた113.00円を突破した事で上値追求ムードが高まりやすい流れではあるが、本日は月末・最終日につき多少割り引いて考える必要がありそうだ。なお、113.70円台以上に続伸すれば月足が陽線に転換する事になるが、ハードルはかなり高いと見ておきたい。

注目イベントは、日銀金融政策決定会合と黒田総裁の会見だろう。一部参加者の間では、日銀が10年債利回りの許容変動幅を拡大するとの思惑があると報じられている。金融市場が混乱気味のこのタイミングで、金融緩和の手を緩める(と市場に受け取られる)事は極めて考えにくいと思われるが、念のため注目しておきたい。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
10/31(水)	—	◎	(日)日銀政策金利発表	-0.10%	-0.10%
	15:30	◎	(日)黒田日銀総裁、定例記者会見	—	—
	16:00		(独)9月小売売上高指数(前月比)	-0.3%	+0.5%
	18:00		(ユーロ圏)ノボトニー・オーストリア中銀総裁、講演	—	—
	18:00		(ユーロ圏)ハンソン・エストニア中銀総裁、講演	—	—
	18:30		(ユーロ圏)ビスコ・イタリア中銀総裁、講演	—	—
	19:00		(ユーロ圏)9月失業率	8.1%	8.1%
	19:00	○	(ユーロ圏)10月消費者物価指数(HICP)・速報値(前年比)	+2.1%	+2.2%
	21:15	○	(米)10月ADP全国雇用者数(前月比)	23.0万人	18.7万人
	21:30		(米)7-9月期雇用コスト指数(前期比)	+0.6%	+0.7%
	22:45		(米)10月シカゴ購買部協会景気指数	60.4	60.0
	23:30		(米)EIA週間原油在庫統計	—	—
11/1(木)	09:30	○	(豪)9月貿易収支	+16.04億AUD	+17.00億AUD
	09:30		(豪)7-9月期輸入物価指数(前期比)	+3.2%	+1.0%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。